

教科	数学	科目	数学A	単位数	2単位	小学科・学年	全科・3年
教科書	高校数学A(実教)			副教材	高校サブノート数学A(実教)		
学習目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>						

評価の規準・観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数学Aにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身につけることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価の方法	授業中の取組や小テスト、レポート、グループワーク、プレゼンテーション、課題の提出、単元小テスト、課題テストなど。	

学習の内容(特色を含む)					
月	第1章 場合の数と確率	第1節 場合の数	月	第2章 図形の性質	第1節 三角形の性質
4	1 集合と要素	2 集合の要素の個数	10	1 三角形の角	2 三角形と線分の比
5	3 場合の数	4 順列	11	3 三角形の外心・内心・重心	第2節 円の性質
	5 組合せ			1 円周角	2 円と四角形
	第2節 確率			3 円の接線	
6	1 事象と確率	2 いろいろな事象の確率	12	4 方べきの定理	5 2つの円
		第1期考查		第3節 作図	
7	3 独立な試行とその確率			1 基本の作図	2 いろいろな作図
	4 反復試行とその確率			3 三角形の外心・内心・重心の作図	
8			1		
9	5 条件つき確率	6 期待値	2		第3期考查

担当者からのメッセージ及び特色	
1 授業	授業では多くの生徒を対象に話すので、既に知っているようなことを聞くこともあるかも知れないが、話の筋道が大切なので最初から最後までよく聴くことが大切です。
2 家庭	家庭では練習問題を数多く解いてみる。その際答えを出すことだけでなく、答えに至る過程を重視し、間違っただけでどこで間違っただのかを突き止めておくことが重要です。